

令和2年度

社会福祉法人 富山市社会福祉協議会 事業計画書

現在、国においては「2025問題」や「2040年問題」、「8050問題」、「ダブルケア問題」などを視野に、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法一部改正や社会福祉のあり方の見直しが図られています。

人口減少や超高齢化が急速に進む中で、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯だけでなく、地域とのつながりを失い孤立し深刻な生活課題を抱える住民も増加しています。

こうした状況に対応するには、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、子供、高齢者、障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創る「地域共生社会の実現」に向けて取り組まなければなりません。そのためには、住民誰もが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できるコミュニティづくりを育成し、多様な地域課題を早期に受け止め、地域を基盤とした支援の方法や解決に向けた仕組みづくりが重要です。

富山市社会福祉協議会では、富山市地域福祉計画第2期計画（令和元年度～令和5年度）を受けて、第3次地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）を策定しました。この計画は、市の地域福祉計画の基本理念や施策を一部共有させ、地域福祉を具体的に進めていくための行動計画であります。

基本目標である「市民協働による共生社会づくり」「福祉サービス基盤の強化」「安心・安全で暮らしやすい地域づくり」「市民の誇りづくり」を軸に、これまでの取り組みを強化し地域の関係機関や団体・組織等との連携・協働のもと進めてまいります。

具体的には、子育て支援の新たな取り組みとして、子育て世代の情報交換や仲間づくりの場としての「子育て応援広場」を年1回開催するとともに、地域食堂（子ども食堂含む）等への立ち上げや運営の支援に積極的に取り組むことにより、地域全体で子どもを見守り、地域住民（多世代）のコミュニケーションの場づくりを推進します。

また、事業中心型社協から総合支援型社協への転換が求められている中で、生活課題を抱える方への相談や支援を行う総合相談機能の充実に努めます。

さらに、経営改善計画の推進による安定的な法人運営にも積極的に取り組みます。自主財源の確保を図るとともに事務事業の改善や組織のスリム化による経費節減を図り、自主・自立的な事業主体として福祉サービスの充実に努めます。

令和2年3月

社会福祉法人富山市社会福祉協議会
会 長 野 尻 昭 一